

社会福祉A

〔例題1〕 民間企業における障害者雇用に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。なお、民間企業の障害者雇用の動向については、「令和4年 障害者雇用状況の集計結果」に基づくものとする。

- ア. 民間企業における法定雇用率は2023年4月現在、2.3%である。
- イ. 民間企業の8割が法定雇用率を達成している。
- ウ. 民間企業に雇用されている障害者数は100万人を超えている。
- エ. 民間企業で雇用されている障害者について障害種別にみると、身体障害者が最も多い。

- 1. ア、イ
- 2. ア、ウ
- 3. ア、エ
- 4. イ、ウ
- 5. イ、エ

【正答3】

社会福祉A

〔例題2〕 子どもの福祉のための養子縁組制度である特別養子縁組制度に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 特別養子縁組は、養親となる者と養子となる者の同意により成立する。
2. 特別養子縁組が成立するには、養子となる者が6歳未満でなければならない。
3. 養親となる者は、養子となる者と30歳以上の年齢差がなければならない。
4. 縁組の成立により、原則として養子と実父母との親族関係は終了する。
5. 縁組の成立後は、いかなる理由があっても離縁することは認められない。

【正答4】

社会福祉A

〔例題3〕 介護保険サービスに関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 介護保険施設の指定・開設許可は、基準を満たし適正な運営が見込まれる場合に行われるが、その基準は設備と運営基準についてであり、人員についての基準は定められていない。
2. 地域密着型サービスは、住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できるよう身近な市町村で提供されるものであるため、事業所としての指定は必要ない。
3. 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス」は、夜間にはサービスを提供していない。
4. 介護保険サービスの利用にあたっては、利用者に最適なサービス内容を介護支援専門員等が決定しており、利用者やその家族の同意は必要ない。
5. 訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・通所介護・短期入所サービス等の居宅サービスは、居宅サービス計画（ケアプラン）に基づき、組み合わせて利用が可能である。

【正答5】

社会福祉A

〔例題4〕 発達障害における家族支援としてのペアレントトレーニングに関するア～ウの記述の正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア. ペアレントトレーニングは、子どもや自分自身について「行動」で把握することで、保護者の認知的枠組みを修正していくことを目的にした簡易的プログラムである。
- イ. ペアレントトレーニングは、行動理論をベースとし環境調整や子どもへの肯定的な働きかけを学び、保護者や養育者の関わり方や心理的なストレスの改善、子どもの適切な行動の促進と不適切な行動の改善を目指す家族支援アプローチの1つである。
- ウ. ペアレントトレーニングにはプログラムの共通要素（コアエレメント）として、子どもの良いところを探してほめる、子どもの行動を3つにタイプ分けする、行動理論（ABC分析）などがある。

	ア	イ	ウ
1.	正	正	誤
2.	正	誤	誤
3.	誤	正	正
4.	誤	正	誤
5.	誤	誤	正

【正答3】